

すつかりだめになつたぼく

向井修 二(イメージプロデューサー)

朝からすこしはだ寒い小雨の降る日だった。

朝早くから久美子の電話があり「少し相談があるの」またいつも誘い方だと思いながらも、しぶしぶオリエンタルホテルのロビーへ、出かけいった。エナメル赤のレインコートを着ている彼女だが、少し歳をとった感じだ……。すでに彼女は部屋を予約していた。……シャワーのぬくもりがいやに淋しく感じた、彼女は大変楽しげだったが、いつまでも変わらぬ女だと思いながらも、ふと、去年の冬のこのホテルでの出来事を思い出していった。

あの恵美は、僕の友人の奥さんになっているけれど、あれほどまでにおれのことを追いかけまわしていくせに今では、すまして彼に抱かれていると思うと、なんとなくにがにがしい思いにふけっていた。

突然シャワールームに彼女が入ってきて、彼女のいうには「結婚しなければならないの」「でもあなたとは、結ばれそうにないわね」そういうながら彼女はシャワーの中に入ってきた。

やっと解放された僕は、ホテルを出て、街角に立った時赤いマーク2に乗った女が急に車をとめた。その女をよく見れば、六甲に住む貿易商の娘で、わがままなやつだ。誘われるままに車に乗ると、女に珍らしく大抵なハンドルさばきでおれを六甲山上まで連れ上がった。彼女は何にもいわず僕を……だった。僕は逃げ出したい気持で彼女を市内の小さなスナックへ連れていくと、なんとそのスナックのママが、昔、東京で遊んだ女で、おれを見るなり彼女は「あんまりだわ」と言いながら近づいてきた。その時の女の顔の恐ろしさはたとえようがない。しかし、おれの手に小さな紙切れを手渡したが、開けてみると、彼女の電話番号ではないか、あまりにも女のいやらしさに僕はいやけがさした。ほうほうのついで僕がスナックをとび出すと、後には、女の追いかけてくる様子もなく、中で女の口論がかすかに聞えてきたが、私は加納町の角を曲って、バッタリ会った女が悦子だった。あまりにあかぬけて気が付かなかつたけれど、あるコンサートで知りあつた、あの可憐な女の子がこんなに変つたかと思いながらただ肩を並べて歩き出し

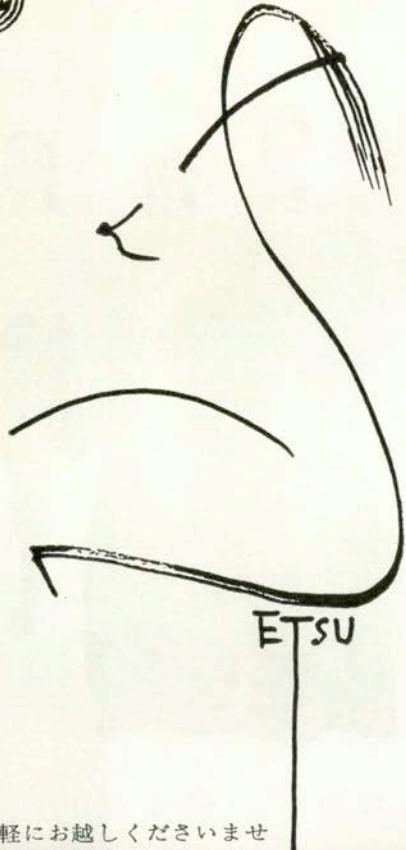
た。おれはいやだったが、小さなホテルからやっと解放された。
 やつとの思いで、よく行くスナックへ入ると、そこにはまた、明美・知子・幸子と、
 それぞれ思い出のある女がいるではないか。どうして彼女達が友人になったのだろう
 と、少々恐ろしく感じながらその場を逃げ出した。

トアロードを下りてくると、ふと泣いている女がいるのに気付いた、その美しい姿に
 つい声をかけてしまった。顔をあげた彼女は、またよく知っている育子であった。誘わ
 れるまま彼女の小じんまりとしたマンションにたどりついたと同時に彼女は、ひょうへ
 んして僕におそいかかった。僕は恐ろしさの余り、なされるがままにしていたが彼女は
 よほど淋しかったのだろう。

もうたくさんだと思ってマンションに帰つて見るとなんと、有子が僕のベットで一人
 寝ていた。もうたくさんだと思いながら、彼女のなすがままに一夜を過した。こんな毎
 日が続くのかと思いつながら、僕はもうすっかりだめになってしまった……。
 ▲終り▽



こんな毎日が続くのか……



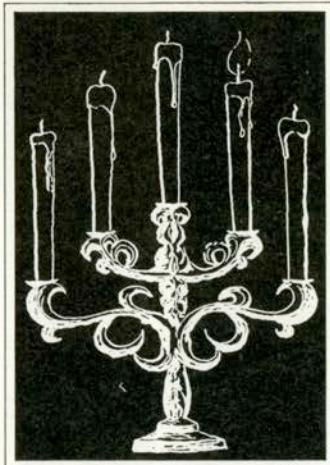
お気軽にお越しくださいませ

スタンド

勢津

神戸生田東門筋 ゼウス街 ☎ 078(39)0516

クラブジャルダンは
可愛い花でいっぱいです
花に囲まれて飲む酒
楽しいひとときは
ジャルダンならでは……。
ジャルダンは、あなたの
いこいの場です



CLUB

ジャルダン

神戸市生田区中山手通1丁目111

岩戸秀能

TEL. 33-8589

クラブ
ガーデニア
生田区中山手1—114(東門筋)
中島ビル2F TEL39-3329



"ガーデニア"は、くちなしの花。この花の季節になると、あの、なんともいえぬ香りが、やさしく店内を包んでくれる。

ママの松下昭子さんは、丸6年間、ムーンライトにて、行き届いたマナーを身につけた人。北野町で生まれ、北野町で育った生粋の神戸っ子。店内は、渋い茶系統に統一、白壁が上品で、オーソドックスな風格をそなえている。客層も、ママさんの人柄や、店の雰囲気から、年配客が多いのもうなづける。ドッシリしたカウンターに片ヒジをつき、静かにグラスをかたむけるも良し、ママさんと大いに大人の会話を楽しむもまた良し……。付出しには、洋酒に合った木の実をはじめ、ケイ子さんが、毎日変わる自慢の味を提供してくれる。オールド¥400



DRINKING

スタンド
娑羅(さら)

生田区中山手1—91 TEL39-1647



"もののあわれ"を静かに味わい人の命を深く考え知り、心静かにやすらぎのう。そして雄々しく生き抜かんとする人間の智慧を深く感じせしめる樹……娑羅双樹の娑羅から引用。そして、元ブルーリボンにいたママの田中淳子さんの好きな寒椿に似た白い花を咲かせる。そんなお店にと額いを込めてこの10月にオープンした。広々とした店内は清楚な感じにと白っぽい色に統一、そして落着いたクラシックムード。特に巾広いカウンターには、手前に皮クッションが付いており、ヒジをついて娑羅双樹の下で内に智と雄を秘め、人生を感じつつ、カウンター内のヤッちゃん、ヨッちゃん、マスターの真崎さんを相手に大いに酒を楽しむ。二人で千円札二枚もあればけっこう楽しめる。





より高い精度を
実現した
高振動自動巻腕時計
ロレックス
ウルトラクロノ



特約店

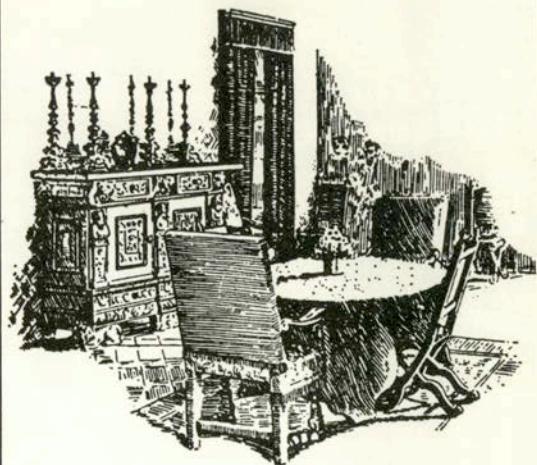


美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

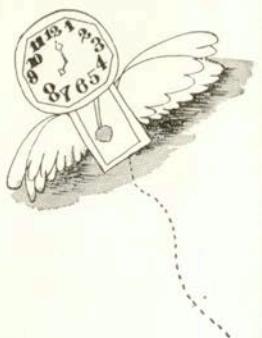
神戸市生田区三宮町3丁目大丸前 TEL 神戸(39)3737(代表)

東京店・東急百貨店(日本橋店内1階 TEL 03(211)0511
本店(渋谷)7階 TEL 03(462)3180

工場・神戸市垂水区多聞町小東山975/35

神戸木工セザンヌ TEL 078(76)5005(代)

神戸百店会
だより



★ベニヤ三宮店開く

三宮センター街、婦人服
飾店「ベニヤ」が11月25日
ニチイ2Fに「ヤングボケ
ット・ベニヤ」をオープン
約250坪の広々とした店内
は、白と黒を主にしたイン
テリア。ハイカジュアルな
商品を中心に、ヤングミセ
スにいたる広範囲を対象と
して、今までの専門店をよ
り一層個性的にしたヤング
ブティックである。日本の
トップクラスのハイカジュ
アルメーカーがせいぞろい
している。

★“あきら”で
メー キャップの講習会



あきら“メー キャップ”講習会

キヤップ師山田高裕さんを
招いての講習会が行なわれ
た。ヘヤにプラスして、
メー キャップのもつていき
方で、こんなにも美しいくな
ります。殊に眉毛のカット
で、顔のイメージが随分と
違ってきますとのこと。

より美しくなりたい……
というは女性ならば誰で
も変わることのない願い。
“あきらの会”各員の約三
〇人の女性たちが集まつて
熱心に美へのアプローチの
ひとときをすごした。

★ラウンドショッピングセンター神戸

冬のバーゲンセール

恒例の「ラウンドショッ
ピングセンター神戸・冬のバーゲンセ
ー」が12月2・3日の2日
間、三宮ビル10Fにて(A
M 10時～PM 6時)開かれ
る。参加するのは、ネクタ
イの元町バザー、紳士・婦
人靴のヨシオカ、ハンドバ
ッグのシラサ、パラソル、
ショールのオカダ、呉服の
みよしや、洋服の紹渡辺、
婦人服のエスター・ニュート
ン、以上七店。一流品を安
く買えるということで毎回

好評を得てきたが、今回の
人が集まるところだろう。
★オリエンタルホテルで
春の“サノヘショー”
十月二十、二十一日、オ
リエンタルホテル二階バラ
門店の“サノヘ”の一九七
〇年春、夏のフランスコレ
クションのショーが開かれ
た。ヨーロッパの二回、主役の佐藤友美が
招いての講習会が行なわれ
た。ヘヤにプラスして、
メー キャップのもつていき
方で、こんなにも美しいくな
ります。殊に眉毛のカット
で、顔のイメージが随分と
違ってきますとのこと。

このショーヨーは、今迄の展
示即売会とは趣きを異にし
ていて、フランスのサロン
風な受注、即売システム
のファッショニ、ショーヨー。
静かなミュージックの流
れる中、モデルさんが次々
と着て現われるコート、ワ
ンピース、スーツはニット
製品が殆んどで、美しい線
と着やすいデザインのヨー
ロッパ逸品ぞろい。このシ
ョーでオーダーすると、来
年のEXPO'70開催の春、
年から注文品が直送され
る。

★“あきら”のと細貨のちんがら
屋の福武花子さんが今回、
11月21日、東京で、中小企
業庁の長官賞を優良従業員
として表彰されました。



サノヘのショーヨー風景

★トアロードの“クロス”がTV
の背景になりました。関西TVで
放映中の「二つの影」／金曜夜十
時半から、十二月十九日と二
十六日の二回、主役の佐藤友美が
クロスの店員になって演じます。
共演は、池部良、土屋嘉男など決
い配役。ぜひご覧ください。

★三宮センター街“履物の山下”
では、足が大きくて革履に困って
いる婦人の方の要望にこた
え、Lサイズ、特大Lサイズ
を取り揃えました。その他、ク
リスマス、正月、成人式にふさ
わしい履物も各種揃っております
ので、ぜひ一度お立ち寄りください。
★元町通一丁目太田べつ甲子
では、足が大きくて革履に困って
いる婦人の方の要望にこた
え、Lサイズ、特大Lサイズ
を取り揃えました。その他、ク
リスマス、正月、成人式にふさ
わしい履物も各種揃っております
ので、ぜひ一度お立ち寄りください。
★おもちゃの“カメヤ”では、來
年正月2日より五日間さんちか広
場にて、恒例の“第三回おもちゃ
大会”を開催します。ゲーム類を
中心に各種おもちゃを展示、即売
する予定ですので、お正月には、
家族揃ってお出かけになつてはい
かがでしょうか。

★さんちかタウンを名実共に、日
本一のショッピングタウンにして
よる、「流行はさんちかから“モ
ラ会”」を結成。百店会メンバーカ
ラは、UCC上島珈琲本店、セリ
ザワ、神戸眼鏡店、美田時計店、
カメヤ玩具店、星月堂が参加、世
界のショッピングタウンにしよう
と勉強会を開き、大いに張り切って
います。

ポケットジャーナル



★センター街に

「さんセンター」完成

神戸・三宮センター街にショッピングセンタービル「さんセンター」完成。総工費約二十五億円をかけて造られた「さんセンター」は地下二階、地上七階建で、延べ二万三千二百平方メートルとデパート並みのビル。

同ビルには、地元センター街の洋服店、時計店、菓子店、喫茶店などのほかダイエー、ニチイなど大手業者合わせて二十五店舗が入居している。また、同ビルは今までのセンター街の道路から五メートルもさがつていて、道幅も倍近く広がり、カラーロード（有色舗道）になる予定。

★おめでとう！！

県の三県受賞決まる
十月十八日、郷土の文化や科学の振興に功績のある「県文化賞」、「国際文化賞」、「県科学賞」の本年度受賞者が決まった。

「県文化賞」は、西宮神社の宮司のかたわら郷土史

★召しませ

神戸のりんご
「神戸でりんごができるやつホント、ホント。神戸市

てホンマカイナ！」

舞子町、明舞団地のすぐそばの二千坪の土地に、りんごの木が百本。ピンク色の初々しい実をいっぱい実らせている。

これは関西りんごの大和園といって、京都、奈良、箕面そして神戸の京阪神で栽培して、樹の上で成熟したもののです。すぐ採集して、新鮮な、美味しいりんごを食べさせようと始まったもの。

神戸の舞子園は、並河さん（二年前に他界）と井良尚氏、今日の書道兵庫本画（南画）の水越達也氏を育てあげた深山茂氏、日本画（南画）の永谷晴子さん、県芸術祭、神戸市民劇場の育ての親である小寺敏氏、灘神戸生活協同組合理事として十六万組合員の生活文化向上に努めた永谷晴子さん、県下邦舞界の発展に努めた県舞踊協会が受賞。

「国際文化賞」は、本年度直木賞受賞を受け郷土作家としてめざましい活躍をしている異色作家の陳舜臣氏が受賞。「県科学賞」は、酵素蛋白の帰果性の究明を行なった神大医学部助教授の若林正雄氏、振動工学を通じて建築技術の合理化、造船作業の合理化と生産向上をはかるため、多用途電子写真書き装置の新技術を開発した沓木幹雄氏と池上吉蔵氏が受賞した。

りんごの交種で「舞子」を三〇本輸入して舞子園に植えた。三年はかかる花が翌年末には開き、植樹に成功して、今では一〇種の冬

りんごができる。

並河さんを慕って集ったビジネスマン、学生、酒屋さんなどが、今も同好会グループを作つて、この舞子園のりんごを育てている。だから市販はされず、特に注文のある人々に送り、それだけの要望にこたえるのがせい一杯。日曜日には、大阪や神戸の人々が集まり、消毒や草刈り、リンゴつみなどをやっている。池を埋めて団地ができ、そのせいであり、リンドの樹が枯れたそう

誕生日
運動
ありがとう



□「誕生日ありがとう運動」への献金の方法は、一〇円を住所氏名生年月日を書き添えて事務局へ郵送してください。また古切手集めにもご協力ください。

□「誕生日ありがとう運動」への献金の方法は、一〇円を住所氏名生年月日を書き添えて事務局へ郵送してください。また古切手集めにもご協力ください。

事務局：神戸市芦合区小野柄通二の五、青陽養護学校内
誕生日：ありがとう運動事務局
電話：一五五五九

だ。りんごの園地公害である。

しかし、もぎたてのりん

ごはさわやかな美味しさ。

ご連絡をお取りになりたい

方は輝化学工業KKの吉田

将展さん。△72△三三四六

まで。

★ドレミファ噴水バレスで

若いカップル誕生!!

海と山に近接した美しい

自然公園として知られる須

磨浦山上、今夏コンピュ

ターの操作によるドレミフ

ア噴水パレスの登場で話題

になったこのパレス内で、

10月25日(土)山陽電鉄の

主催で、新郎・佐伯洋(28

歳椿本シェイン製作所輸

出部勤務)と新婦・森口好

美(21歳)の『ドレミファ

結婚式』が挙行された。



噴水を背景に若いカップル

を浴びて新郎新婦が登場。詩人・竹中郁氏の軽妙で、ウイットに富んだ司会のもの。永遠に誓う新郎新婦の宣誓、指輪交換、花束贈呈など式は順調に進んでいた。

友人グレープのスピーチ

あり、この日の二人にピッ

タリの新郎新婦の『愛のデ

ュエット』あり、ピアノ、

電子オルガンの伴奏で合唱

するなどはほえましい光景

華麗な電子噴水の乱舞を背

景に二人の新しい門出を祝

うこの式は、終りに近づく

につれ熱を帯び最高潮のう

ちに終った。

★大学生経営の店超満員

きょうざな店超満員

神戸は専門店の街。この

十月始め、また一軒、きよ

うざ専門店・『赤満』が登場

国鉄元町駅東口南の細い筋

を下つてすぐ、緑地に赤く

『赤満』と描かれた看板が

目に付く、まだベンキの色

の新しい小さなお店。

きょうざ一〇〇円、焼そ

ば一〇〇円、ビール一六〇

円といふメニュー。

『巷の豊満経営』に対抗し

てみせる!』と威勢の良い

夢を運ぶメンデルスゾーン

の結婚進行曲がパレス内を

静かに流れ、それにつれて

数限りなく変化するドレミ

ファ噴水の色と形が極彩色

の穂先を幻想のように展開

するなかを、ステージ両サイドより華やかなスポット

若さあふれた熱気とまだ

セルフサービスを余儀なく

四人展』が開かれた。

野美大学生の岩見君。タイ

シヨウを中心活躍する総

大の経済学部生。デザイ

ン部門を担当したのが、武藏

美大學生の岩見君。タイ

シヨウを中心活躍する総

大の経済学部生。デザイ

ン部門を

神戸にゆかりのある四画

の書き出しはこう始まる。

昭和二十年五月、夫(勤)

氏、現日本毛織総務部長

は、遺髪と一通の遺書

の上に、玲子・紀子・徹

祐子の幼い四人の子供を残

して応召し消息を絶つ。

この手記は、安居母子が

あらゆる悪条件の中を必死

で生きた苦闘の記録であり

昭和二十一年に記されたも

のだ。

あれから二十余年、著者

は二人の娘を嫁がせて平和

命力は、次の世代に勇敢に

受けつながるべきものであ

る。一読の価値がある。

安居壽子・芦屋市朝日ヶ

丘町三三〇一八

すすめられて出版を思いた

ったこと。

凍った大地での母子の生

命力は、次世代に勇敢に

受けつながるべきものであ

る。一読の価値がある。

△甲南出版社発行 四〇円

△YV

★女教師の愛の記録
「こどもと歩く」発刊

神戸市立御影北小学校教

師、小崎佳奈子さんの生徒

との愛情あふれるエッセイ

「こどもと歩く」が発刊さ

れた。

三年生から五年生を終え

るまでの児童にスポットを

当て、現代の子どもの姿を

懸命につかもうと努力して

いるが、著者の求めている

ものは記録ではない。作品

を通じて流れているものは

愛であり、人間基本の精神

であるといえる。

△甲南出版社発行 四〇円

△YV

★コウベ
ムービーコーナー
「ティファニーで朝食を」

61年に公開され、ロマンチック

・コメディの大作として大評判を

とった映画である。数多くの秀作

を誇るオードリーヘップバーンの

主演映画のなかでもこの作品は、

彼女の個性が百害無一利活かさ

れた最高の当たり役といえね。

△YV

伯作品は、抽象絵画に対しても、いわゆる具象陣営に属し、展覧されている絵も、ともに「人間」を主題としたもので、これらの作品に示された対照は、人間性・人間観のちがいを示して、絵を見る人達を魅了させていた。

文字段おり、新しい洋画壇の担い手たちだ。

また、赤根和生氏(美術評論家)の言葉をかりれば

「それぞれ日本の画壇に、新風を吹きこみつあるユ

ニーグな存在である」とい

つていている。

★胸うつ母子の愛情

「流亡の記」出版される

昭和十五年五月、夫は社

命によつて新京ニッケギヤ

ラリーへ赴任し、翌年の初

夏、私は長女玲子と満一才

経由、新京へ向つた。

朝鮮

に足らぬ紀子を連れて

由、新京へ向つた。

ト。

そこでして、この外人た

ちのなんと楽ししそうな表

情、語らいだらう。お年寄

りたちもカラフルなおしゃ

れを楽しんでいる。

こんな雰囲気のつみかさ

ねのなかからいまの神戸が

生れたのである。開放的

で明るい気質、かなり積極

的でハイカラ好きといつた

神戸文化のパターンまでで

きあがつていつたのだろ

う。

そして、市民文化をもつ

神戸でただひとつ街なの

トに外人の観光客があふれ



計時花

街のなかの文化

海の女王、キンベルラ号

が

白い優雅なかたちを神戸

港、第五突堤に見せた元町

から大丸前、そしてトア・

ロード、センターハー

ー、とい

つたショッピングストリ

ー

トに外人の観光客があふれ

ト。

そこでして、市民文化をもつ

神戸でただひとつ街なの

ト。

10人20人30人40人50人100人でも1部屋でできます

忘年会

幹事様へ

ご苦労様です

幹事さん！

貴方の黒字も私の赤字も

三味に合わせて

ほい、ほい、ほい！

忘年会は
やつぱり
置の上で……

なわ
なや

まぐ
まぐ

とん
ちゃん

ぐん
ぐん

美人



一
ば
ん

赤坂

赤坂名物

△吉野鍋 (若どり野菜変り鍋)

△清盛焼 (神戸肉を焼いて野菜をたっぷり)

△蔵王鍋 (山海の珍味25種入荷)

お料理お酒一本つけて 1,200円より

神戸・中山手四 TEL. 22 7836・7846

にや
にや

八
ちゃん

うふ
ふ

ほんたん

らいらい

ほいほい

あはは

お
料理

一
ば
ん

に
や
に
や

楽
し
い
集
い
は
赤
坂
で

新しい“味” リンゴ酢と蜂蜜で



鮓の又 半

神戸三宮生田ノ社ノ西

電話・三の宮 (33) 0935

非童心童物語

足立卷一
え・津高和一

最終回

ぼくたちは「悪童」ではなかった。
しかし「善童」でもなかった。

色彩風琴

前号まで 父は二六新報という新聞の同人であったが、ぼくの生後四ヶ月で急死。母は実家に帰り、祖父母に育てられる。小学一年生のとき、祖母も死に、祖父につれられて故郷長崎に引きあがったが、その祖父も急死し、孤児となる。親戚の寺や染物屋で養われていたが、急に神戸の母の実家へ引き取られ、そこから鹿訪山小学校へ通うことになった。同級のトオルさんと友達になり、絵を描いたり、タルマッチをしたりして、毎日毎日遊んだ。中でも生田神社の森やおまつりは僕達の好奇心をおりたてた。また、阪妻に魅せられて場末の映画館をまわったり、腹面遊びをしたりしたのもこの頃である。このようにしてぼく達の旺盛な好奇心は、遊びや、遊び仲間を通して毎日毎日新しい経験と知識を与えてくれる。

米田透の第一詩集『色彩風琴』が、やっとのことでお出たのは昭和四十三年になってからである。「やっとのこと」というのは、ぼくたちがいくらすすめても、当人はどうしても出そうとはしなかったからである。その年の正月、ぼくは広島から出てきた桑島玄一詩人と酒を飲んでいた。そのうち、米田詩人を襲いたくなつた。桑島詩人も「襲撃！」と軍隊調の号令を放つた。あいにく家人はみんなするであつた。何か酒のサカナでも持つていこうと思ったが、見あたらぬ。冷蔵庫を引っ搔きまわしていたら、ワサビづけの残りが奥のほうにかくれている。それを新聞紙にくるんで出かけた。

四十年あまりむかしのトオルさんは、いまでは宣伝会社の「開発部門担当取締役」である。

であるから、大橋六丁目の邸宅では当然特級酒が出た。ぼくと桑島詩人とはそれをガブ飲みした。与謝野晶子のような夫人は「結構なものを頂戴しまして」と、ぼくが持参したワサビづけを小皿にきれいに盛りつけて出した。

ぼくも箸でなめた。が、ピリッとどころか辛くもない。無味でカビくさいばかりだ。気がついた。あのワサビづけはいとが新幹線の車中で買ってきただもので、半分喰つて冷蔵庫に入れたまま忘れていたシロモノだ。

見ると、詩人はそれをうますうになめては、酒をふくんでいる。

「うまいか？」

「うまい。おれは大好物でな、こいつが」

そういうて、詩人はまたシロモノを口に運んだ。

そのとき、ぼくは夫人にむきなおつていったのである。

「かれが詩集を出さんのは、おくさんが出ささんからやとみんないうてまっせ」

そのとたん、夫人は「まあ——」と、美しい眉をフクチヤンのようにかわいらしくもらせた。夫人はいくら

か涙声になつてぼくにもらつた。お金も用意してあるし、近く結婚することになつてゐる娘さんまで貯金している一万円を供出しようといつてゐるのに、本人が「お前らに詩のことがわかるか?」といつて、どうしてもどうあわないのでさうである。

それが、ほどなく出すということになった。

「あのあと、女房と娘にヤラれてなあ」

と、詩人はそのち出会つたときには嘆いた。とにかく

そうして詩集『色彩風琴』は世に出たのである。

『色彩風琴』の出版記念会は、その年の九月一日午後

元町のコトブキ特別室で催された。それさえも詩人は辞退しつづけ、あげくは親しい最少の人たちで、といふことでやつとひらかれたのである。集まつたのは十七名といふささやかな会合ではあったが、亜理保、岡本甚一、

沼田清信、小林武雄、広田善緒、津高和一、伊田耕三といった少年のころからのかまはみんな顔をそろえたし、静かでくつろいだ気分であった。

ぼくは、司会役をかつて出た。そして、この詩集が出るまでの経過、つまり正月に急襲したことも報告した。

つぎつきにスピーチがおこなわれた。

竹中郁詩人が立ちあがつた。

「東洋には『はじらい』という美しい精神の独特的伝統があります。著者はその美しい『はじらい』を持ちつづける詩人であります」

そのようなことを大声で、でも入れ歯が飛びださないかと案じるような口の動かせかたで述べた。適評と感服した。すると、竹中詩人はコトバをついだ。

「それをおくさんのお尻を搔いて出させるというのはどうかと思います」
ぼくは思わず首をくぐめた。

しかし、後悔したというわけではない。『色彩風琴』はどうしても社会に出さなければならぬ美しい詩集であると信じていたし、そのためにはどうしても美しい夫人のお尻をも搔かねばならなかつたからである。

ぼくは理科の問題で神戸三中の入学試験に落第し、関西学院中学部にかようようになつたけれども、学校はさっぱりおもしろくななく、トオルさんや一鶴と会うのが一番のたのしみであつた。

一鶴は貿易商社の給仕になり、夜学にかよつてゐたので、日曜にはたいてい会うことができたが、トオルさんは絵具材料店の店員になつてゐたので、休みは一ヶ月に一度か二度しかなかつた。絵が好きだったのでそんな店を選んだらしいが、つとめてみると絵をかくこととは何の関係もなく、トオルさんは自転車で絵具やクレオングを配達していた。

そのころ、トオルさんはどういうわけか、自動車に異常な興味をみせてゐた。まだ台数も少ない時代であつた



が、どこで調べたのか車の種類をよく知っていて、たまたま

に自動車がとおると、あれはフォードやとかシボレーとか、立ちどころにいいあてた。

ぼくはといえば、投書の熱中が短歌に移り、歌集ばかり読んでいた。というのは、中学は何ひとつおもしろいことがなかったが、ほどなく石川乙馬という国漢教師を知ったからである。乙馬先生はアララギふうの短歌をよみ、自分でガリ版を切って『香菓』といううすっぺらな冊子を出していた。

ぼくは何かといえば、詠草をもって乙馬先生の家をたずねた。父のような人だと思った。先生のことは『やちまた』という作品に書いたので略するが、ぼくはトオルさんと一鶴とをその『香菓』のなかまに引き入れた。

「なんや、和歌やて」

トオルさんも一鶴もはじめは気のすすまないようすであったが、つくりはじめるとすぐに上達してぼくを追い

(カ)



越した。

昭和六年十一月三十日発行の『香菓』第七号の「乙馬放言」と題する後記で、先生はこう書いていられる。

「足立、米田、吉田（一鶴）君の歌が非常に接近しつつある。技量がではない、目のけどころおよび表現の技巧がである。何故だろう、次号でよく研究しようと思つ」しかし、それは当然かもしれない。休みにはぼくたち三人は必ず集まり、短歌を作りあい、短歌のことばかり語るようになっていたのだから。そのとき、ぼくはもう十八歳、トオルさんと一鶴とは十七歳であった。

仮駅の歩廊ここよりあらはに見ゆ夜風に立てるあらはなる人ら

その号でトオルさんはそんな歌を出している。もう、

ぼくのおよぶところではなかった。朝日新聞では毎年正月短歌を募集して発表していたが、その年トオルさんは一等で大きな活字で組まれ、坪田耕吉の選評で賞賛された。ぼくの歌はビリのほうで、小さな活字であった。

そののち、ぼくが短歌から詩に移ると、トオルさんも一鶴も詩を作るようになり、そしてたちどころにぼくよりずっとうまい作品を示した。

その日から、すいぶん長い時間が流れてしまった。

トオルさんも一鶴も何度も職場をかわり、三人とも恋をし、フラれ、自殺をゆめみて未遂に終わり、そのうち戦争になり、一鶴はビルマ戦線でゆくえを絶つたし、トオルさんは朝鮮へ渡つたり微傭工になつたり、ぼく自身も一度召集され、一度は全身に爆創を負つてほとんど死んでいた。そのあいだに「神戸詩人事件」というのもあつた。それでもトオルさんもぼくも家庭を持ち、同じく三人の子の父となつた。

戦後の生活もお互いにひどいものであった。トオルさんは看板屋になり、ついで進駐軍のサイン・ペインターとして大いに特技を發揮し、酒場△貧乏神△の主人となり、コピーライターとなり、それでもあげくは重役になつた。ぼくはといえば、貧乏な雑文書きに落ちついでし

また。

まあ、それもいい。

米田詩人の娘さんの結婚式には、ぼくも岡本甚一詩人とともに招かれた。一席ぶつた。

「新婦の父とは、小学校からの友だちです。したがって失礼ながらおくさんよりつきあいは長い。そこでいえることは、新婦の父は一度も悪いことをしなかったということです。保証します。その清潔な血が新婦には流れているのであります……」

そんなようなことをまくし立てた。岡本詩人が「うまいこといいよったな」とほめてくれたが、新婦の父は酌にまわってきていた。

「えらいこというてくれたな、おれかて、かあちゃんにいえんようなことを……」

なるほどと思った。ぼくは女性には忌みきらわれるのに、米田詩人はすぐ女にはれられるのである。もっとも、ぼくはすっかりハゲあたまになっているというのに詩人は「青年」とアダ名され、少年のころのふかぶかとした二重まぶたの目はいまも美しく、ふしきに髪は一本からやむをえまい。

そこで、ふと思うのだ。ぼくがもし、理科の問題に失敗せず神戸三中に入学していたら、母の希望どおりに帝大へ進んで、いまごろは高級官僚か実業家になっているかも知れない。それが関西学院で乙馬先生を知ったばかりに文芸に熱中し、上級学校も乙馬先生が卒業した専門学校を選んだのである。理科の問題、乙馬先生がぼくのそののちの人生をきめたといっていい。しかし、ぼくは少しも後悔してはいない。

トオルさんも、ぼくと出会わなかったら、おそらく詩集『色彩風琴』は出していないだろうと思う。短歌にさえ接近していないにちがいない。くされ縁というものであろう。それだけに、ぼくのようなトオルさんよりずっと詩のヘタクソな者が、二冊も詩集を出しているというのに、かれが「東洋のはにかみ」からかどうか知らないが、一冊も出さないというのは困るのである。

それで、竹中詩人のスピーチに首をカメのようにひっこめながら、四十年を越えるふたりの人生を内部で一瞬に通過させ、それから、満悦のひとり笑いを浮かべたのである。

（おわり）
ほんとうの非恋愛物語はここから始まるのですが、それは構想を改めて別に書くことにします。長らくご退屈様でした。（筆者敬白）

★関西の情報雑誌

オール関西

12月号予告



★特集阪急三番街

- ・インタビュー 阪急三番街と新しい街づくり 山口興一<阪急電鉄専務>
- ・阪急三番街アラカルト
- ・座談会 世界につながる阪急三番街
- ★万国博特集
- ・最後の追いこみにかける企業パビリオン
- ・万国博各パビリオンホステス座談会

経済人対談 坂口二郎・原喜平・森下泰

好雇対話／浅田敏章・高田好雇

★好評連載企画

名作の中の関西・大谷亮一／画家との一時間・

ポンソワール・マダム

・向井修二の仲間診断

・グループ登場

・上杉典子の中近東イラスト紀行

創作／ヤップ島ノート 松尾亮

コラム／マスコミ探点簿・経済・科学・音楽・美術

万博の動き

関西のすべてをガイドするタウンカレンダー

ゴルフ・カー・麻雀競馬・／神戸ショッピングガイド
神戸百店会ガイド／ニューショップガイド



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ④ 7290

Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop

フナキヤ

元町3 TEL ⑨33>3617



選びぬかれた
ブレタボルテ
オーダーシャツ
リゾートウエアは
世界の名品を

紳士洋品の店

千秘庵

元町店 TEL 34-6959
メトロ店 TEL 34-0550



高級紳士服専門店

神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL ⑨0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ⑨2817-3173

アクセサリーの店

神戸大丸前
TEL(39)9719

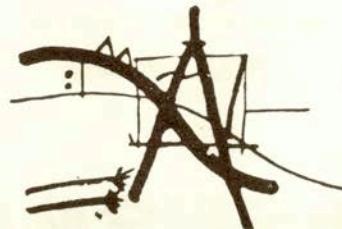
創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸■元町
ACCESSORIES

イクシマヤ

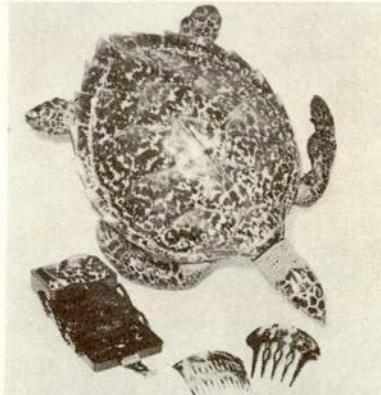
TEL. (33) 2415・2416

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
③1309・6234



新装開店
センスあふれる
ベッ甲専門店 元町1丁目 TEL③6195
太田鼈甲店

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十一年

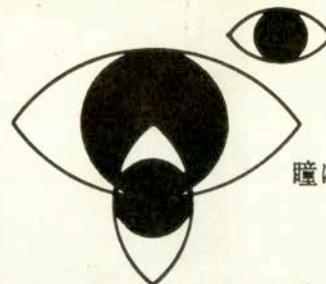
履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市兵庫区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）

神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

旅を楽しく
旅を手軽に…

大上総店

*ハンドバッグの店

いなみ

神戸元町店 ☎ 078 333 3962

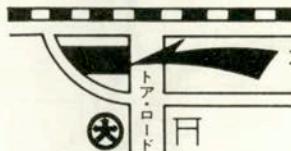
神戸さんちか店 ☎ 078 394 627

大阪 千日デパート 1階



■インテリヤデコレーション

合鍵と錠前



カギヤ
金物店

トア・ロード

カギ屋金物店

KOBE 三宮・トア・ロード ☎ 0193-6507

OSAKA 心斎橋そごう地下一階

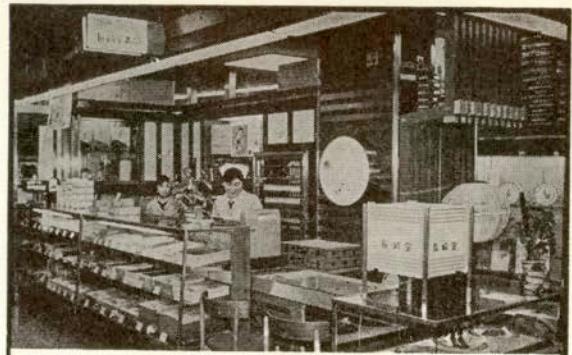
お歳暮に

のれんが育てた
神戸の味

夏せんべい
クリームバビヨン

亀の井亀井堂本家

神戸三宮 トアーロード
本店 33-0001
電話 南店 33-1616
さんちかスイーツタウン
電話 33-6532



ご贈答に風味豊かなカステーラ
長崎堂本店

本店 = 大橋町5 大五ビル (61) 0553-4
新開地店 = 松竹座前 (56) 2423
元町店 = 元町 6 (34) 4130
さんちかスイーツタウン (39) 3625

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
チョコレート・キャンディー

神戸本社 神戸市生田区三宮町1丁目170 電話 33-5304
神戸直売店 神戸市生田区三宮町1丁目 電話 33-1217
大阪堺筋店 大阪市東区淡路町2丁目 電話 231-6979
大阪心斎橋店 大阪市南区安堂寺横通4丁目 電話 251-4182
東京銀座店 東京中央区銀座8丁目 電話 571-2303
東京新宿店 東京都新宿区角筈1丁目
新宿ステーションビル地下2階 電話 352-2436
東京国際ビル店 東京都丸ノ内 国際ビル 電話 212-3746

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店

ai 喫茶 愛

TEA ROOM

★神戸・元町本通元一ビル2階 TEL (32) 0958

支店 本店 大丸前・三宮神社

TEL さんちか味のれん街 523 567 774

(毎週水曜日休み) 5 2 3 39

TEL 557 774 223 3333

てんぶら おすし 濃彌

営業時間 A.M. 11.30 ~ P.M. 9.




やつぱりうまい
むさしのとんかつ

でんわ・
232333
一三七七
〇六三七
二三五四

ムサシノベ三宮

よしかわ




グラムーレ

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637



千里

スタンド 千里 東門筋東神ビル地階
TEL 33-4730

ヤッカチェーン



古きヨーロッパ Drink Stand
ムードの 石垣と
ステンドグラスの ある店

TEL (33) 9090
サンサンクレコレ




ヤッカチェーン

Snack and Drink

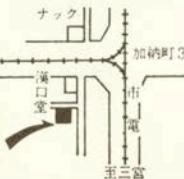
DOGA 白榆で囲まれた
ドガ 北欧ムード
TEL 33-4560 お二人づれの店






JAZZ BOX Candy

神戸市生田区加納町3丁目2 TEL 33-3371


SNACK YAMANOTE

神戸市生田区中山手1丁目 ソネビル TEL 22-3637